

地域の中で 青島の再生を

鳥取版びっくりひょうたん島 実行委員会



竹内 房男 さん
Fusao Takeuchi



無人島探検（津生島）でアカネズミを発見！

ひょうたん島を発見！

40数年前、子どもたちの人気をさらった人形劇のテレビ番組がありました。NHKが制作した「ひよっこりひょうたん島」です。火山の噴火をきっかけに漂流を始めた「ひょうたん島」と、そこに取り残された、先生と子どもたちの冒険物語です。

鳥取版びっくりひょうたん島実行委員会の竹内房男会長が、山王団地に引越してきたとき、そこから見た青島の姿は、まさに「ひょうたん島」でした。35年前のことです。

因幡の祭典をきっかけに

かつて湖山池は、人がつどい、楽しむ場であった時代がありました。竹内さんによれば「私が高校生の時には、湖山池で泳いでいましたよ」とのこと。ところが、ほかの地域も観光地として整備され、青島や湖山池に目が向けられることが少なくなりました。「いつか青島をもう一度『楽しい場所』として復活させよう」と、ひょうたん島構想を練っていたんです」と竹内さんは語ります。

湖山池は、昭和40年代から非常に水質が悪化し始めたた

め、行政や地域住民が協力して、浄化の取り組みを進めてきました。特に、ひょうたん島の取り組みの母体となった山王団地自治会や山王さん周辺活性化協議会の活動は活発で、湖畔の清掃活動や植物を植えたいかだによる浄化などを行っています。

そうして地域が一体となって活動している中、平成18年に2009鳥取・因幡の祭典の中核事業の募集がありました。竹内さんは、かねてから構想していた「びっくりひょうたん島」事業を山王さん周辺活性化協議会のメンバーと練り上

げ、応募したところ、739案の中から一般の部で会長賞を受賞し、事業として採択されたのです。

そうして、協議会のメンバーを中心に、鳥取版びっくりひょうたん島実行委員会は、平成20年に45人のメンバーで結成されました。

プレ事業で手応え

昨年度は、プレ事業として、「海賊船で無人島（津生島）探検」、湖山池クルージングなどを行いました。

「無人島に入ると、子どもたちの目が輝いていましたよ。」来

Vol.27 遠くを見るには望遠鏡

自作の望遠鏡で、初めて天体を見たのはガリレオ・ガリレイでした。

ガリレオが望遠鏡をのぞいてまず最初に驚いたのは、遠くの月がいかにも目の前にあるように見えることでした。さらに、倍率を上げることによってそのものを大きく拡大してみることができること、そうすることによってより詳しく観察できることでした。

彼が1610年3月12日の日付で書き残した報告書「星界の報告」に、「月」「天の川」「オリオン座」「プレアデス」「木星」「金星」などを観察して、新しい事実を見つけたことが書かれています。その事実をもとに、ガリレオは、太陽系の惑星たちの動きが地球中心の「天動説」で説明されていたことに疑問を持ち、太陽中心の「地動説」の方が矛盾なく太陽系の運動を説明できることを確信したのです。

日本にこの望遠鏡が伝わったのは、長崎で行われていたオランダとの交易を通してのことです。

幕末のころに日本全国を測量した伊能忠敬^{いのうただたか}や、太陽黒点の観察を行った鉄砲鍛冶^{くにとも}の国友藤兵衛^{とうべえ}、大阪の岩橋善兵衛^{いわはしぜんべえ}などが自作の望遠鏡などでそれぞれ成果を挙げています。測量で正確な方位を観察する手立てとして、また自然界をより詳しく知る手立てとして、望遠鏡は重要な道具となったのです。

そして、この望遠鏡が科学技術の発達とともにどんどん大きくなり、現在では日本が誇る「すばる望遠鏡」の8.4mの口径にまで達し、宇宙の果てを見せてくれるようになったのです。

※9月23日(水・祝)まで、ガリレオ望遠鏡、国友の望遠鏡(精密レプリカ)、岩橋の望遠鏡(本物)を鳥取市さじアストロパークで展示しています。



海賊船で湖山池をクルージング

年の予約もしたい』なんて声もあつたくらいで。それと、湖面に繁茂したヒシやアオコにびっくりしてしまいましたね。そうやって体験を通じて湖山池の姿を見てもらうことが大切なんです」

今年の事業も準備は着々と進み、炭焼き体験など、すでに一部の事業に取りかかっています。

地域の自発的な活動に

湖山池浄化の活動は今年、環境省の「水・土壌環境保全活動功労者」として環境省水・

大気環境局長から表彰されました。ひょうたん島の活動も、活性化のモデルケースとして注目を集めています。

「環境省からの表彰は、地域の自発的な取り組みが評価されていること。このひょうたん島の事業も、湖山池や青島の活性化のための一つのきっかけづくりと思っています。こういう活動が地域から自然発生的に出てくるようになれば、青島も楽しくなりますよ」と竹内さん。

「ひょうたん島」は、青島ににぎわいを取り戻す大きなきっかけになりそうですね。

【びっくりひょうたん島イベントスケジュール】

- 7月25日(土)～8月30日(日) 海賊船で湖山池クルージング、無料レンタサイクル
- 7月25日(土)～8月16日(日) 湖山池の水族館
- 7月25日(土)～8月2日(日) 動物と遊ぼう(やぎ・うし・うさぎ)
- 7月18日(土)～20日(月) キャンプ
- 7月25日(土) オープニングセレモニー
- 7月25日(土)～8月8日(土) 秘密基地づくりコンテスト
- 7月26日(日) 手ナガエビ釣りに挑戦、カヌー体験
- 7月27日(月) 劇団おひさまとおぞら公演
- 8月1日(土) キャンドルづくり、炭焼き体験発表会、鳥取県知事講演会、オカリナ演奏会
- 8月2日(日) ひょうたん島ファンクラブ会長伊藤悟さん講演会
- 8月8日(土) 宝の地図を見ながら宝探し
- 8月8日(土)、15日(土) 無人島探検
- 8月9日(日) 竹とんぼ・竹馬づくり、人形劇「星たぬき」
- 8月15日(土) 湖山池検定
- 8月16日(日) 和紙づくり、スタンプラリー
- 8月22日(土) 夏休み宿題応援、竹を使って竹炭をつくろう

※すでに終了している事業、定員に達している事業もあります。詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ先 鳥取版びっくりひょうたん島実行委員会
☎ (0857) 28-3011 ☎ (0857) 28-7030